

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

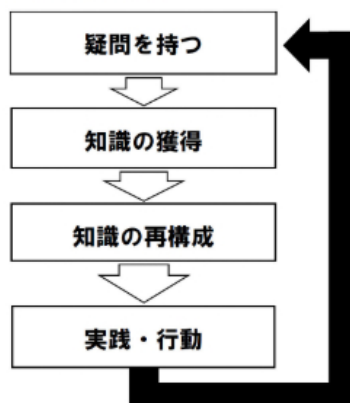
資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [問題意識を持って、考える能力を高めよう](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

問題意識を持って、考える能力を高めよう

問題意識を持つということは、考えることの第一歩です。自分の頭で考える能力を身につけることです。

人間の知的成長は、



このような、サイクルを描いて、ラセン階段を上るように、人間は **知的成長** を図っていると言います。

したがって、
1. 「何故だろう」・「どうしてだろう」・「どうすればよいのだろう」と、常に自分に問いかけることです。その問いかけは、**理想と目標**を与えてくれます。そして、「自分はこうなりたい」という**欲求**が芽生える力ともなります。そうすると、「自己啓発の姿勢」が出てきます。常に自覚することになります。

2. 労働運動にも言えます。

一体、我々の組合はどんな運動をしようとしているのだろうか。どんな職場に、どんな会社に・・・・・・というように、どんどん疑問を引き出し、理想を語ることです。

組合員に呼びかけられるものを持つ、ということです。

それは、「学習」・「勉強」なくして言えません。「学習」や「勉強」は、さらに次の問題意識を生み、社会や職場や組合の問題点を発見する力をつけることになります。

ですから、「何故だろう」と問題意識を持つことは、考えることの第一歩であり、知らないことを知ることで、そして、知らないことを知ることで、学習し、さらに問題意識が生まれてくるというサイクルを描きながら、より高く、より広く、自己啓発することになります。

●無関心層問題について

何が原因か、どうかすると、関心を示さない組合員や国民がいけないと考えがちだが、必ずしもそうではない。活動に問題がないのか、リーダーに問題はないのか、あるいは会社や職場環境は、あるいは関心を示したくても全くニーズにあっていないのではないかと・・・・等。とくに、何に問題があるのか敏感に気づくことが大切です。

●知識を増やすことは、「知らないことを知る」ことであり、「知らない問題が増える」こと。そして知的欲求を高め、自己啓発を深めることです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.